

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	外国の報道関係者への発信力強化のための基盤整備		<b>担当部局庁</b>	外務報道官組織		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度開始		<b>担当課室</b>	国際報道官室		佐藤国際報道官		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	Ⅲ-2 報道対策, 国内広報, IT広報				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	外務省設置法第4条第15項		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	・外務大臣による記者会見への同時通訳導入のため、必要な通訳者及び機材経費。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	・同時通訳の導入により、外務大臣の発言を、迅速にニュース性を高く保ちつつ外国プレスに伝えることで我が国の力強い復興や地方の魅力等を海外に、より効果的に発信する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-	
		補正予算	-	-	-	28	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	28	-	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	・会見に出席する外国プレスの数。 ・会見をネットに同時配信した場合、その動画へのアクセス数。 ・記事の質に改善が見られるかについても検証を試みる。			人				20
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	・外務大臣の会見における同時通訳の実施回数						( )	( 40 )
<b>単位当たりコスト</b>	( 701千円/回 )		算出根拠	・28,035千円(同時通訳に必要な通訳者及び機材経費)÷40回(23年度活動見込回数)=701千円				
平成23年度(単位:千円)予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計	0	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・執行にあたっては、工夫と無駄の排除により、限られた予算の有効活用に努めていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)(単位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					